

## 第91回経営協議会議事要録

日時 平成31年1月18日（金）13時30分～14時45分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

吉原、内田、丸茂、赤澤、佐山、青柳、進藤の各委員

島田学長、早川理事、堀理事、袖山理事、杉山理事

（列席者）

岩崎副学長、鮎川監事、山田学長補佐、小林総務部長、寅ヶ口施設・環境部長、

渡邊研究推進部長、美濃総合情報戦略部長、茅国際部長、

渡邊監査課長、志村企画課長、深澤特命課長、石原総務課長、窪田教務課長、

佐藤病院経営企画課長、

京寫財務管理課課長補佐、加勢企画課課長補佐、望月広報企画室長、植村総務課課長補佐

### 議事要録確認

第90回（30.11.22開催）及び第90回追認（メール審議）の経営協議会議事要録を確認した。

### 審議事項

#### 1 改組等に伴う学則等の一部改正（案）について

早川理事から、資料1により、医学部看護学科3年次編入学廃止及び教職大学院の改組等に伴い、学則及び大学院学則等の関係規則の一部を改正する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・山梨大学学則
- ・山梨大学大学院学則
- ・山梨大学学科目等細則
- ・山梨大学専攻科細則

#### 2 中期計画の変更（案）について

早川理事から、資料2により、大学院総合研究部ワイン科学研究センター育種試験地跡地の譲渡、大里宿舎の譲渡、医学部看護学科3年次編入学の廃止及び教育学研究科の改組に伴い中期計画を変更する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 3 平成30年度学内補正予算（二次）編成（案）について

杉山理事から、資料3により、医学部附属病院の収入増、成島職員宿舎の敷地の一部売却及び建物補償費を財源として、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構への納付金、大学高度化推進経費（学長管理経費）及び附属病院経費として追加配分を行う旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 4 国立大学法人山梨大学スペースチャージ制度拡充検討委員会規程の制定（案）について

杉山理事から、資料4により、大学施設の良好な維持管理を行うにあたり、現状では十分な財源が確保されておらず、財源の確保等を検討する組織を立ち上げる必要があるため、新たに規程を制定することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・国立大学法人山梨大学スペースチャージ制度拡充検討委員会規程

5 国際学生寄宿舍の整備（案）について

杉山理事から、資料5により、国際学生寄宿舍の不足解消のため、芙蓉寮北棟を国際学生寄宿舍に転用し、シャワー室及びトイレ等を整備する旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学長から、甲府市ふるさと応援寄附金（国際交流用）を活用し、留学生等に必要な支援をしていく旨発言があった。

## 報告事項

1 教育研究評議会の開催状況について

袖山理事から、資料6により、第177回教育研究評議会の開催状況について報告があった。

2 役員会の開催状況について

袖山理事から、資料7により、第201回及び第202回役員会の開催状況について報告があった。

3 2019年度国立大学法人運営費交付金 予算内示について

杉山理事から、資料8により、機能強化経費共通政策課題分及び特殊要因経費の内示等の状況、並びに機能強化経費機能強化促進分及び共通政策課題分（基盤的設備等整備分、附属病院機能強化分）の今後の伝達予定等について、報告があった。

4 2019年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業＜当初予算＞について

杉山理事から、資料9により、2019年度新規事業（3件）及び継続事業（3件）について内定通知があった旨、報告があった。

5 平成29年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

早川理事から、資料10により、標記評価結果について11月20日付けで国立大学法人評価委員会

委員長から通知があり、4項目全てにおいて「順調に進んでいる」との評価であった旨報告があった。併せて、他大学等の取組事例について、今後の参考としていただきたい旨説明があった。

6 その他

(1) 平成30年度学長等と外部有識者との意見交換実施状況について

学長から、机上配付資料により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。

※ 次回会議 平成31年3月15日（金）16時00分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

審議事項

## 2 中期計画の変更（案）について

（進藤委員）

広大な土地であるワイン科学研究センター育種試験地跡地は、甲州ぶどうの生産拡大のため、県内ワイナリー等に譲渡してはどうか。

（学長）

有効に利用する譲渡先を検討したい。

## 5 国際学生寄宿舎の整備（案）について

（内田委員）

短期留学生はどのような受入形態なのか。

（茅国際部長）

2年前から、7月に1ヶ月程度、日本語・日本文化体験プログラムを実施しており、冬には1週間程度の研究体験プログラムを実施している。

また、短期研修制度として、半年間程度、主に研究室に滞在するプログラムもある。

（吉原委員）

寄宿舎費はいくらに設定するのか。

（茅国際部長）

国際交流会館は月13,000円及び光熱費であるが、館内の設備等を考慮し、今回整備する国際学生寄宿費は、月12,000円で調整している。

（青柳委員）

高知工科大学、オックスフォード大学及びケンブリッジ大学などは夏季に入居者を退去させ、国際会議や夏季セミナーなどに使用するなど有効利用をしている。この方法であれば、部屋も比較的清潔に保たれる。新たに同様な有効活用を導入したらどうか。

（茅国際部長）

今後、検討したい。

報告事項

## 3 2019年度国立大学法人運営費交付金 予算内示について

（丸茂委員）

貴学は地方創生に寄与している事業も多いため、山梨県等と連携し、地方創生に関する予算の獲得を検討していただきたい。

（吉原委員）

山梨県としても文部科学省に相談し、大学と検討を進めているが、条件が厳しく申請に至っていない。地方創生に寄与できる予算になるよう申請条件の簡素化、交付時期の早期化を要望している。

（早川理事）

現在、山梨県県民生活部私学・科学振興課と本学の研究担当との間で検討し、プロジェクトの申請の準備を進めている。

(青柳委員)

データサイエンス・プログラミングについては、今後ますます重要となり、整備が必要になるので、継続して予算確保に努めてほしい。

(学長)

予算を獲得できるように努力する。

(青柳委員)

政府は、科学技術基本法を改正する方針で、人文・社会科学の分野も科学技術の振興施策に含まれるようになる可能性がある。貴学には教育学部もあることから、人文・社会科学を重要視して、戦略的に検討していただきたい。

(学長)

検討したい。